

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和4年9月28日(2022.9.28)

【公開番号】特開2021-113234(P2021-113234A)

【公開日】令和3年8月5日(2021.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2021-035

【出願番号】特願2021-80880(P2021-80880)

【国際特許分類】

C07C 2/86(2006.01)

10

C07C 13/04(2006.01)

C07B 61/00(2006.01)

【F I】

C07C 2/86

C07C 13/04

C07B 61/00 300

【誤訳訂正書】

【提出日】令和4年9月16日(2022.9.16)

20

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

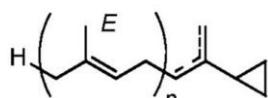
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基質上の炭素-炭素二重結合をシクロプロパン環に変換するプロセスを通して式

【化1】



30

式中、n = 0、1、2または3、の化合物を形成する方法

であって、方法が、基質をN-アルキル-N-ニトロソ化合物、遷移金属触媒および水性塩基で処理する工程を含み、ここで、N-アルキル-N-ニトロソ化合物を、一塩基または二塩基酸またはそれらの混合物の存在下で、アルキルアミンをアルカリ金属亜硝酸塩と反応させことにより形成し、ここで、N-アルキル-N-ニトロソ化合物を、基質、触媒および塩基と混合する前に、蒸留しない。

ここで、酸は

40

a) ギ酸、乳酸、またはグリコール酸、または、

b) カルボン酸の混合物、またはカルボン酸と無機酸との混合物、または一塩基無機酸と二塩基無機酸との混合物である、

前記方法。

【請求項2】

酸が、一または二塩基カルボン酸、および前記カルボン酸よりも低いpKaを有する有機または無機酸の混合物である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

酸が、酢酸および硫酸の混合物である、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

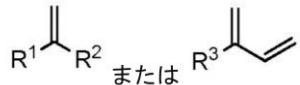
50

N - アルキル - N - ニトロソ化合物がN - ニトロソ - - - メチルアミノイソブチルメチルケトンである、請求項1～3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

基質が、一般式

【化2】



式中、R<sup>1</sup>およびR<sup>2</sup>は、独立して、H、分枝状または非分枝状であり、置換または非置換である、アルキル、またはアリールを表すことができ；R<sup>3</sup>は、分枝状または非分枝状であり得、置換または非置換であり得る、アルキル、またはアリールであり得る、で表される化合物である、請求項1～4のいずれか一項に記載の方法。  
10

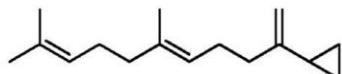
【請求項6】

基質がイソプレノイドである、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

式

【化3】



20

の化合物を形成する、請求項1～6のいずれかに記載の方法。

【請求項8】

基質が、アルファファルネセンまたはベータファルネセンである、請求項6に記載の方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

30

【訂正対象項目名】0037

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0037】

以下の表は、異なるカルボン酸を使用するこの手順の変形からの結果を示す：

40

50

【表1】

ラン	酸	酸濃度	モル当量 酸 ／メチルオ キシド	NOx ガスの形 成 <sup>b</sup>	純度 <sup>a</sup>	収率 <sup>c</sup>
比較	リン酸	H <sub>2</sub> O 中 75%	0.9	わずか	77%	73%
1	ギ酸	純粋	1.75	弱い	72%	68%
2	酢酸	純粋	1.75	わずか	69%	66%
3	酢酸	純粋	1.6	わずか	70%	62%
4	α - ヒドロキ シーイソ酪酸	H <sub>2</sub> O 中 75%	1.75	中間	59%	38%
5	乳酸	純粋	1.75	わずか	71%	62%
6	グリコール酸	純粋	1.75	わずか	74%	61%

10

20

30

40

50